

2024年7月29日

「第42回第一生命全国小学生テニス選手権大会」への特別協賛について

第一生命保険株式会社(社長: 隅野 俊亮、以下「当社」)は、2024年8月7日(水)より開催される、「第42回第一生命全国小学生テニス選手権大会(公益財団法人日本テニス協会主催、以下「JTA」)」に特別協賛します。

当社は、社会貢献活動の取組方針¹で中心テーマに掲げる「次世代支援」に向け、1983年の第1回大会より特別協賛するとともに、東京都世田谷区にある第一生命相樂園テニスコート(以下、「当社テニスコート」)を大会会場として提供してきました。

本大会は、地区大会で上位成績を収めた選手が出場し、小学生日本一を決定する大会です。世界で活躍する錦織圭選手、西岡良仁選手や日比野菜緒選手、内島萌夏選手などを輩出し、プロ選手を目指すテニス少年・少女の甲子園とも言われています。第42回を迎える今年の本大会には、全国の地区予選(総参加者約4,500名)を勝ち抜いた128名の選手が出場し、日程は8月7日(水)~11日(日)の5日間の開催となります。

■昨年度大会の様子(第41回大会 2023年8月)



男女入賞選手



女子優勝 篠原 絢さん



男子優勝 中島 一輝さん

また、今年は大大会2日目の8月8日(木)に、橋本総業ホールディングス株式会社・JTA・当社が協同で開催するイベント²を予定しています。本イベントでは大会の出場選手を参加対象とし、橋本総業ホールディングス株式会社所属のプロ選手と当社のレッドクレイコート³で練習を行うことで、ジュニア選手の更なる育成強化を目指していきます。

¹ 詳細は「<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/basic.html>」をご覧ください。

² 詳細は「<https://www.jta-tennis.or.jp/Portals/0/resources/tournaments/pdf/zensyo/2024/clinic2024.pdf>」(日本テニス協会ホームページ)をご覧ください。

³ 世界最高峰のテニス大会のひとつ、全仏オープンに採用されているサーフェイス。クレイ舗装の一種で表層の材料は天然土ではなく人工土。球足が遅く、また、ボールが跳ねることで、テニス戦術の向上、メンタルタフネスの効能が期待できる。ヨーロッパの多くのジュニアはレッドクレイコート環境で育っている。

当社は、2022年に行ったテニスコートのレッドクレー化を機として、JTAとともに次世代テニス選手の強化・育成、本大会の更なるブランド化に向けた取組みを今後も更に展開していくことにより、世界で活躍する選手の輩出に寄与していきます。そして、多世代の方々に対するテニスの普及にもつなげていながら、健康増進や地域活性化を通じた地域住民のwell-beingの実現に向けて、引き続き貢献していきたいと考えています。⁴

■大会概要

日程	2024年8月7日(水)～11日(日) (雨天順延に備えて8月12日(月)を予備日とする)
会場	大会本戦 1～2日目:武蔵野ローンテニスクラブ(杉並区高井戸西) 大会本戦 3～5日目:第一生命相模園テニスコート(世田谷区給田) ※武蔵野ローンテニスクラブは会場スペースに限りがあるため会場への入場制限を実施
出場者	全国の地区予選(総参加者 約4,500名)を勝ち抜いた小学生128名 (男子シングルス 64名、女子シングルス 64名によるトーナメント方式)
運営	<ul style="list-style-type: none"> ・主催 公益財団法人日本テニス協会(JTA) ・主管 株式会社フミヤスポーツ、株式会社クラミツプラモート ・特別協賛 第一生命保険株式会社 ・大会ボール協賛 ヨネックス株式会社 ・協賛 株式会社シミズオクト、株式会社東印度カレー商会 ・協会協賛 リポビタンSports、日本航空株式会社 ・協力 武蔵野ローンテニスクラブ、フクシマガリレイ株式会社 ・後援 読売新聞社

なお、大会期間中は猛暑が予想されるため、選手の安心・安全を第一とし、JTAが定める「熱中症予防JTA公式テニストーナメント開催ガイドライン」に則り開催します。⁵

⁴ 詳細は「https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2021_032.pdf」をご覧ください。

⁵ 詳細は「<https://www.jta-tennis.or.jp/Portals/0/resources/news/necchushog1.pdf>」をご覧ください。